

第2回策定会議における各委員からの意見等

①各委員からの主な質問／市回答

質問No	各委員からの主な質問内容	市回答
Q1	消防団員減少への対応について、若者が主体的に地域に関わることを期待していたが、素案はハード面の施設整備や消防団OBの活用が中心の計画になっている。	若者の加入促進には取り組んでいるが、加入してもらえない事実もある。計画には明記していないが、行政としても消防団と連携して取り組んでおり、その上で施設整備も進めていきたい。
Q2	特撮アーカイブセンターで映画コンクールを継続的に開催し全国展開を目指すとともに、本市出身の漫画家（鈴木央氏）に協力を呼びかける考えはあるか。	特撮アーカイブセンターでは特撮塾を通じて中学生の映画制作を支援しており、今後は民間の自主制作映画コンテストも検討したい。また、本市出身の漫画家を表敬訪問し、本市の魅力発信について協力を依頼したいと考えている。
Q3	特撮塾参加は、市内在住・通学の中高生に限定しているが、参加費を徴収し、全国から特撮に興味がある参加者を募集できないか。また、特撮や映像関係の専門家を呼ぶなら、移住を促す方法はないか。	特撮塾は市の予算で運営しているため市内の方を対象としているが、全国へのPRも大切であるため、今後は参加費を払ってでも参加したい方向けの展開も検討したい。また、特撮関係者の定住促進についても考えていきたい。

第2回策定会議における各委員からの意見等

①各委員からの主な質問／市回答

質問No	各委員からの主な質問内容	市回答
Q4	岩瀬地域の小・中学校は、統合するということで話が進んでいるのか。	小・中学校の統合は、長沼地域では進めており、岩瀬地域でも同様の進め方を検討中である。 岩瀬地域では小中一貫授業や連携が進んでおり、地域の意見を踏まえながら、令和12年度までに同意が得られれば、過疎債を活用して義務教育学校の整備を進めていきたい。

②各委員からの主な意見

意見分野	各委員からの主な意見内容
3. 産業の振興 (観光)	特撮アーカイブセンターには整理された展示スペースが必要。また、空き校舎の活用も検討すべきで、耐震補強済みの校舎は展示や合宿施設に活用できる可能性がある。過疎地域では特区を設けて企業誘致を進め、人口や税収の増加を目指すべき。

第2回策定会議における各委員からの意見等

②各委員からの主な意見

意見分野	各委員からの主な意見内容
3. 産業の振興 (観光)	いわき市立美術館のように、特撮アーカイブセンターや長沼ラボでも巨大ロボット展のような企画を行えば集客や地域の盛り上がりが期待できる。
3. 産業の振興 (観光)	「長沼まつり」の終了で中学生のねぶた制作の機会が失われたが、青森のように展示施設を設けることで継承が可能であり、小・中学校の統廃合で使わなくなる空き校舎を展示や映画制作ができる施設として活用するのも一案である。
3. 産業の振興 (農業)	水稻農業は水があれば一人でも十分可能であり、農業従事者の減少に対して農地拡大が可能のため、水路整備を進めて農業環境を改善し、新規就農者の増加を目指すべき。
5. 交通施設の整備、 交通手段の確保	オンデマンド交通「ちょこすか」は、高齢者からは予約が大変との声もあるが、通院や外出に役立っているとの声も聞く。利用者も増えているため、予算を確保して継続すべきである。
9. 教育の振興	中学校の部活動は指導者不足で存続が危ぶまれていると聞く。市内を東西南北に分けて、学校を越えたクラブチーム形式でスポーツ環境を整え、子どもたちが好きな部活動が続けられるよう市全体で部活動のあり方を検討すべきである。

第2回策定会議における各委員からの意見等

②各委員からの主な意見

意見分野	各委員からの主な意見内容
9. 教育の振興	市中心部の中学校にはある部活動が長沼・岩瀬中にはなく、悔しい思いをしている生徒もいる。小・中学校が統合して義務教育学校になり、部活動を担当する先生が増えることを期待する。また、地域の指導者養成のほか、外部指導者招聘の予算も検討し、学校規模に関係なく子ども達が好きなスポーツに取り組める環境を整えてほしい。
9. 教育の振興	長沼地域の小・中学校統廃合の関係で、子ども達の通学については、スクールバスは必要だと思う。また、統合先となる長沼中学校の体育館改修や学校敷地の狭さ、児童クラブの駐車場問題、避難場所としての安全性など統廃合への懸念がある。義務教育学校の整備については、夢や魅力を示す説明が不足しており、厳しい財政状況の中でも、過疎債活用を含めた検討を望む。
全体	過疎対策は、地域ごとの取組とせず、過疎地域である長沼・岩瀬が一体となって取り組み、両地域から市中心部を盛り上げて行くぐらいの気概を持って取り組むことが必要だと思う。